

あきたアドベンチャープログラム（AAP）

あきたアドベンチャープログラム（AAP）について

令和7年度より、プロジェクトアドベンチャー（PA）はあきたアドベンチャープログラム（AAP）と名称変更し、秋田独自の新たな取り組みを始めました。

課題解決型体験プログラムの一つである「プロジェクトアドベンチャー（PA）」の考え方や手法を取り入れ、豊かな人間関係づくりを目指して、秋田の子どもたちのよさを引き出すような様々な活動を展開していきます。

■活動場所と所要時間

- レクリエーションホール、研修室、所周辺 他 1.5時間～
- ・教育プログラムです。内容や時間につきましてはご相談ください。

■持ち物

- ・飲料水などの飲み物や帽子、タオルなどをご持参ください。
- ・救急箱は各団体でご準備ください。

■活動の実際

①担当スタッフの説明（約束の確認）

- ・スタッフが、AAPの約束や進め方等について説明します。

【基本的となる約束】

・フルバリュー コントラクト

「お互いの人格を最大限に尊重する」という約束事を活動中に意識させます。そして、お互いの努力やよさを最大限に評価します。

・チャレンジ バイ チョイス

活動プログラムには「強制」はありません。挑戦レベルと方法はその人自身が決定します。外部からの脅迫観念を排除することで自己決定の場を保証し、それをお互いが尊重し合うことで、「心の安全」を図ります。活動に挑戦しない場合でも、仲間を安全面で支援するなど、何らかの形で参加することは必要です。

②活動開始

- ・スタッフのコーディネートによって活動を進めます。
- ・必ず各グループに1名は引率の方についていただき、活動の様子を見守っていただきます。

③活動の振り返り（終了）

- ・感じたことや学んだことを発表し合い、活動を振り返ります。
- ・その時間で完結するわけではなく、体験学習が実社会（学校生活や職場や家庭や地域）に生かされるようにしていくことが求められます。

■活動にあたって

- 1グループ15人～20人を目安にグループ編成をしていただきます。（30人の集団→1グループ15人の2グループに分かれて実施）
その際は、活動のねらいや団体の実態に合わせて、「男女混合」「男女別」「クラス単位」「クラス混合」等に編成願います。
- ※同じ時間帯に行うことができるのは他団体を含めて3グループまでです。
- 学年問わず実施可能です。発達段階や集団に応じてプログラムを進めます。
- 1.5時間以上が活動時間の目安です。十分な時間が確保できない場合はAAP本来のねらいに達しにくくなるため、他のプログラムをおすすめします。
- 必ず各グループに1名は引率の方についていただきます。基本的には個人やグループの活動を見守っていただきます。場合によっては活動の中に入られても構いません。また、活動途中での体調不良等への対応をお願いします。

■事前打ち合わせで

- 実施団体が重なり合う場合は、団体間で期日や時間、グループ数等を調整させていただきます。（スタッフが連絡調整いたします。）
- AAPを実施される団体はAAP計画書に必要事項をご記入ください。また、活動を進めるにあたって配慮が必要と思われることがありましたら、必ずご記入ください。